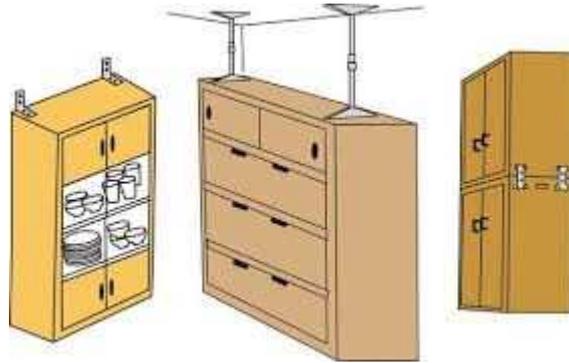


地震に対する3つの備えと、6つの対策

1.身の安全の備え

【家具の転倒防止・落下防止の対策】

- ・転倒防止金具などで固定し、倒れにくくしておく。
- ・本棚やタンスなどは、重い物を下の方に収納し、重心を低くする。
- ・棚やタンスなどの高いところに危険な物を載せて置かない。



【けがの防止対策】

- ・食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止をしておく。
- ・停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- ・散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。



2.初期対応の備え

【火災発生の早期発見と防止対策】

- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- ・普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- ・電気に起因する火災の発生を抑制するため、感震ブレーカーなどの防災機器を設置しておく。
- ・避難時、可能であればブレーカーを切る。



【非常用持ち出し品の対策】

- ・非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- ・車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。
- ・スマートフォンの予備バッテリーなど、必要な電源を確保しておく。



3.確かな行動の備え

【家族でできる対策】

- ・外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所を決めておく。
- ・家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- ・隣り近所の方との協力体制を話し合っておく



【地域の危険への対策】

- ・自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。
- ・自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握しておく。